



A VOICE FOR ANIMALS

No. 24

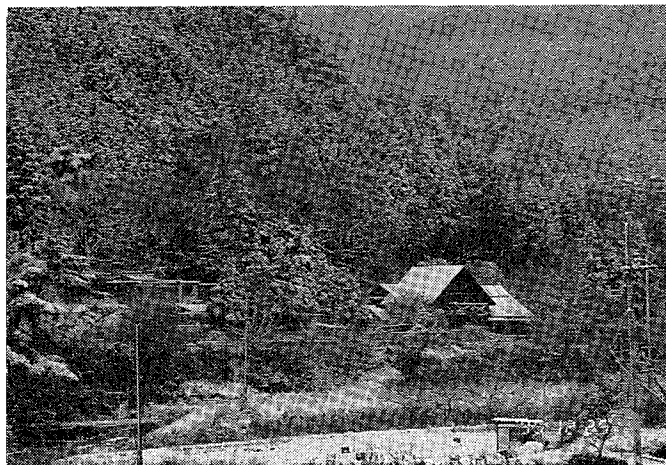
Winter 1996

Love Needs No Pedigree

ANIMALS IN SHELTERS IN BRITAIN SELDOM have to wait long before they find a new owner. The reason? When people want a pet, they think first of giving a home to an unwanted or stray animal rather than buying a new pedigree. The more pitiful the case the more they want it. Although there are breed dogs up for adoption, the majority are mixed breeds or mongrels. To own one means you have a unique pet, as you will never find another one exactly the same. Each has its own personality and they repay you a million times by becoming loyal and loving friends.

Japanese people on the other hand prefer brand new; whether it's a car, a television, or a dog. If they do adopt a mongrel it has to be a young puppy or a kitten never an older animal that somebody has discarded. They also tend to go for

fashionable breeds which they buy on impulse at pet shops. Puppies from pet shops are mostly socially mal-adjusted, often sick and many have genetic defects which appears as the animal grows, along with behavioural problems. But the **brand-new-is-best** attitude prevails, fuelled by powerful advertising and stupid but popular television programmes. In Britain there is a slogan 'Love needs no pedigree'. If you really love animals the pedigree doesn't matter. None of the animals at ARK has a pedigree, but they are all loving, healthy and socially-adjusted. In order for us to rescue more animals we have to find homes for the ones already with us. With this newsletter we are sending out an appeal for animals that need a new home. If you only have one dog or cat, why not one more? If your friends are looking for a pet, don't let them support unscrupulous breeders and pet shops but encourage them to come to ARK. Save a Life and Make a Friend!



愛と血統は無関係

イギリスにあるアークのような動物保護・愛護団体では、その動物たちが里親にもられるのに、ほとんどの場合時間がかかりません。その理由はいえ、イギリスではペットとの生活を始めようとする人たちは、血統書付きのペットを入手するよりも、いっしょに暮らす家族のいない動物に住む家を提供することを何よりもまず考えるからです。保護されている動物の過去の話が悲しいものであればあるほど、その動物を家族の一員として迎えようとする人が多くなるのです。そのなかにはもちろん純粋血統種のものもありますが、大部分は二種または多種の雑種です。あるペットと生活するということは、その人がどこにもまたとないユニークなペットと暮らすことを意味します。ペットはみなそれぞれに違った個性をもっているからです。そ

してペットたちは、いっしょに暮らす人にとって愛情こまやかな存在になることで、計り知れないほど多くのものを与えてくれます。

それとは逆に日本では実に多くの人が、それがテレビであれ、車であれ、犬であれ、新しいものを好みます。里親として雑種をもらい受けるにしても、たいいてい場合、他人が捨てて大きくなってしまっている犬・猫よりも、子犬、子猫でなければ、という人が実に多いのです。加えて、流行りの種類を追いかけ、ペットショップで衝動的に購入してしまうことも多々あります。ペットショップで売られているペットの

多くは、人間と同様にペットたちが成長段階で身につけなければならない社会性に欠けたり、しばしば病気をもっていたり、遺伝上の欠陥をもっていたりします。例えば「社会性」に関していえば、これはペットが成長するにつれ、彼らの行動に問題が生じて初めて判明することなのです。しかしながら「新しいものはいいものだ」という考え方が、広汎なコマーシャルや、大変浅薄ながらも人気のあるテレビ番組によって助長されているのが実情です。

イギリスには「愛と血統は無関係」という標語があります。もし真に動物を愛するのなら、血統など何の意味もないはずです。アークにいる動物たちは血統書とは無関係ですが、実に彼らは愛情溢れ健康で、人間や他のペットたちに馴染みます。多くの悲惨な状況にある動物の救助・保護をよりいっそう進めるためにも、すでにアークに保護されている動物を受け入れてくださる家庭を必要としています。このニュースレターとともに、里親になってくださる家庭を求めているペットたちのアピールをお送りします。すでに犬や猫と生活をともにしていらっしゃる方も一特に犬は社会行動をする動物ですから一ご家族に新たなメンバーをお迎えになってはいかがですか。ご友人にペットとの生活を望む方がいらっしゃれば、備け第一主義のブリーダーやペットショップに備けさせるのではなく、どうかアークからペットたちを里親としてもらい受けるようにお勧めください。

生命を救うことでわたしたちの絆を強めて行くではありませんか。